

春まき (4月中)


●栽培のスケジュール

4月までに	抜根、整地
4月中旬	耕うん、播種、播種後再耕うんまたは散水
6月上旬	除草

●栽培に必要な費用 (10アール当たり)

種苗代	1,480円～2,470円
種ガス代	1,640円～2,730円 ※おがくずでも可 (種が面積に対して少量のため、種と混ぜて撒く)
耕うん代	7,000円～9,400円 (トラクター作業を農林業センターに委託した場合)
除草代	25,700円～38,500円 (シルバー人材センターに2人を2～3日依頼した場合)

●栽培に適した作物例



てまいらず (イネ科・大麦)

播種量 3～5 畝
 価格 470円 (1 畝当たり)
 特徴 乾燥防止、雑草抑制

秋まき (9月中旬～10月上旬)

●栽培のスケジュール

9月までに	抜根、整地
9月中旬	耕うん、播種、播種後再耕うんまたは散水

●栽培に必要な費用 (10アール当たり)

種苗代	7,250円～10,870円
種ガス代	1,100円～1,640円 ※おがくずでも可 (種が面積に対して少量のため、種と混ぜて撒く)
耕うん代	7,000円～9,400円 (トラクター作業を農林業センターに委託した場合)
除草代	25,700円～38,500円 (シルバー人材センターに2人を2～3日依頼した場合)

●栽培に適した作物例



ナギナタカヤ (イネ科)

播種量 2～3 畝
 価格 3,450円 (1 畝当たり)
 特徴 敷草代替、雑草抑制

茶園を美しく保つため、できることがあります 耕作放棄地解消の第一歩を踏み出してください

茶業を続けたくても続けられないという農家が増えています。この川根茶産地を守っていくため、継続困難な茶園に今後どう対応していくか。その課題解決に向けて農林業センターでは現在、環境保全作物の栽培試験を実施しています。春まき品種をセンター内の圃場で栽培試験し、現在は、秋まき品種について経過を観察しています。秋まき品種の経過を見るとナギナタカヤ(下の写真参照)が非常に良好ですね。ナギナタカヤは単価が高めですが、自ら種を落としてどんどん発育していくため、植えたあとの費用はそれほどかからないのでお勧めできます。茶園の管理が困難になっている農家の人は、耕作を放棄してしまう前に、農林業センターの試験圃場まで見学に来てください。茶園を美しく保つため、皆さんにその一歩を踏み出して欲しいと思います。



農林業センター 花房則告 場長

●試験栽培の結果



23年6月18日に茶園の抜根作業・小林正さん(梅高)



9月22日にナギナタカヤを植えた半年後(12月5日)の同畑



川根茶産地の未来を守る

耕作放棄地を解消するための
「環境保全作物」への植え替えのススメ

深刻化する耕作放棄問題

人の手が入らず、次第に荒れていく茶園。今、全国規模で農地の荒廃が進み、深刻な問題となっている。過疎化や農業者の高齢化、若者の農業離れ、地域のつながりの希薄化などによって、農地などを管理する手が不足しているのだ。

本町とて例外ではない。全国に誇る川根茶をはじめとしたさまざまな農業が営まれていた本町だが、近年では、遊休農地、耕作放棄茶園の拡大が進みつつある。全国の事例と同様、農業者の高齢化や過疎化、人口の流出などによる「農業離れ」が急速に進んでいるためだ。農地は、言い換えれば「大切な地域資源」。適切に管理され

てこそ、品質の高い、安心・安全な農作物は生産できる。また、手入れが行き届いた農地は見た目も美しく、豊かな里山の景観を創り出す重要な要素にもなっている。

川根茶産地の未来を守る 新たな取り組みが始まる

川根茶産地を将来にわたって守っていくため、増え続ける耕作放棄茶園にどう対応していくか。そんな大きな課題に立ち向かうため、本年度、農林業センターでは栽培の継続が困難な茶園について、できるだけ手間と経費をかけず、いつでも耕作再開ができる農地として保存するよう、また見た目の美しさを保つよう「環境保全作物(緑肥作物)」の栽培試験に取り組んだ。

4月から麦類を中心とした春まき品種の栽培試験を実施し、現在は秋まき品種の栽培試験を実施。その経過を見守っている。それと平行して、小林正さん(梅高)にご協力いただき、民間の畑での秋まき品種の栽培試験も実施している。

試験の結果、いつ、どの作物を、どのように栽培し、管理したら最も効果的か、栽培にかかる費用なども含め検証中だ。

農林業センターでは、環境保全作物を試験栽培した畑を、常時公開。見学を受け付けている。場長の花房さんは「どこかへ出かけるついでにでも、ぶらり立ち寄ってもらえたら。そして皆さんの目で、環境保全作物の有効性について確かめてほしい」と話している。

【問】
農林業センター
☎(56)0506